

酒々井町

郷土研究会々報

第64号

平成4年4月1日発行

酒々井町郷土研究会 編集部

松平家忠の日記

酒々井歴史余話 (三)

高橋 健一

慶長五年(一六〇〇)の関ヶ原合戦。この合戦に下総矢作の領主鳥居元忠らと伏見城を固め、そして、共に戦死した人物に下総国小見川の領主松平家忠がいます。家忠は、弘治元年(一五五五)に松平元信(後に元康、家康、徳川家康)の家臣で三河国深溝の小領主松平伊忠の子として、鶴殿長持の娘を母に誕生しました。そして、駿河国の今川家から独立して軍事力が強大に整備されていく家康の家臣組織(庄屋(たて)の中において、家忠は東三河の旗頭(家老)酒井忠次の下にあって、家康の一人に位置づけられ、天正十八年(一五九〇)に家康が関東に入封すると、武蔵国忍城を与えられて一万石の領主となり、文禄元年(一五九二)には、領知督で下総国上代郷(香取郡東庄町・千潟町)の領主、文禄三年になると下総国小見川の領主となっています。

さて、この家忠ですが、その私的日記は『家忠日記』『秘本深溝日記』『三州

日記』として江戸時代から知られていますが、それも、天正五年(一五七七)十月にはじまり、文禄三年十月に至る約十八年間の記事は、極めて信憑性が高いものども、江戸幕府の修史事業にも使用されていません。

ここで注目したいのは、この日記には家忠の交流を通じて、現在の酒々井と酒々井の人物に關した記事がみえることです。ところがこの点については、これまでの酒々井の歴史の叙述にあって、看過されてきているようです。そこで、関係記事を増補した資料大成本『家忠日記』(臨川書店、昭和五十六年再刊)により抜書してみましよう。

(文禄元年三月二十日) 江戸普請二佐倉越候、鶴岡宗左衛門村所二留候、落付振舞候、樽代百足、女房永樂貳十足出候、

(同年七月十一日) 江戸普請二佐倉十足出候、

(同年八月九日) 雨降、佐倉越候候、

(同年八月十八日) 各国衆御出仕な候間無用之由にて上代帰候、佐倉越候、

(同年十月四日) 江戸へさくらいつものやと送し候、

(同年十月九日) さくら返帰候、

(文禄二年正月二十六日) 江戸普請二佐倉越出候、去春筑紫へ遣候鉄炮衆上下四人、御返し候、そとくちにいあい候、さくら前の宿、鶴岡ハ上方よりめんぼくに、賀藤申者所に留候、

(同年四月十日) 香取町あかりより、馬四ツうりに越候、佐倉前宿鶴岡宗左衛門尉越候、

(同年四月晦日) 明日朔日、三百額、同孫十郎、大原修理、岡田孫左衛門尉月次よせ候て興業候、作倉より吉祥寺、相馬より梅遊、かいつか神角介、海上石手石見越候、衆来ふる舞候、

(同年五月一日) 三百額連歌候、江戸より舟にて越候小吉帰候、来五日武州にてのやふの馬一越候へ之由申来候、

之連歌二越候、細巴聞書之新式目もたせられ候、

(同年八月十七日) 持寄連歌候、

發句 吉祥寺朝意

花くをなひかす秋の野風哉

(同年八月二十日) 吉祥寺被帰候、

(同年九月九日) 上代返帰候、かハらけ馬少煩にて作倉宿二をき候

(同年九月晦日) 佐倉越候、

(同年十一月一日) 作倉返帰候、吉祥寺被越候、一折連歌候、

(文禄三年正月十四日) 雨雪ふる、又連歌候、夜也、いつ山普請衆かえり候、

發句 吉祥寺

千せへんとならふや松に宿の梅

(同年二月二日) 江戸へ佐倉越出候、

發句第一 家忠

待つころの空や秋の夜時鳥

第二 吉祥寺朝意

夏八月たゝ稲妻のひかり哉

正佐

第三

茂る中の若葉はたかしそのゝ竹

(同年六月二十三日) 江戸御普請二佐倉越出候、

(同年七月二十八日) 普請出来候て佐倉越かへり候、

(同年八月十六日) 作倉へ吉祥寺明日

日記という限られた空間の記事であるため、ここからは詳細までは判明しません。文中に佐倉・作倉とみえるのは、現在の酒々井町上本佐倉周辺をいい、抜書記事の最初の年次、文禄元年は、本佐倉城の千葉氏が滅亡して二年後にあたりです。ここに、この項には佐倉宿が整備されていたことが知られます。また、この年には、徳川家康の五男武田万千代(後に元服して信吉)が、佐倉の領主に封じられ、その家数は上本佐倉の大堀にあって「万千代殿ヤシキ」と称されていますが、佐倉宿とは、この屋敷地の東隣、上本佐倉の現在の中宿・外宿付近にあったものと推測されます。そして、佐倉宿のうち前宿という所割区画に、家忠が江戸普請、京都伏見普請の行き幅りに利用した

(次頁につづく)

鷲岡宗左衛門尉の意があったこと知られてます。さらには、吉祥寺の僧朝意が、家忠の連歌仲間として登場しています。

このように、松平家忠の日記の記事は、近世初期の酒々井の歴史の一端を知る上でも貴重な一次史料となっているのです。

平成4年度第十六回

定期総会報告

平成四年一月二十五日(土)午後一時三十分より酒々井町中央公民館講堂において第十六回定期総会を開催いたしました。

暖冬とはいえ寒さ厳しい中、出席者百名の多数により開催、議長に玉井旭氏が選出され平成三年度事業報告及び決算報告が審議承認され、続いて平成四年度の事業計画案及び予算案の審議の結果原案通り承認可決されました。

尚、特別決議案として提案されました郷土資料館(仮称)設立の件につき全員賛成、早速決議文(別記)を関係機関に提出し、お願いいたしました。次に役員の変更があり、監事に中村寛氏、新運営委員に青木かず子氏が選任され活躍されることになり、熱気あふれる総会を無事終了しました。

決議

「故きを温ねて新しきを知る」は未来を創造する金言である。

止まるどころを知らない技術革新の渦の中で私達の周囲をとりまく生活・生産の総ては一日一日を遠い過去のものとして急激に変遷しつつある。勿論そのこと自体は慶がべきことであって何等異存をさしはさむべきものではないが、その反面旧き故きを以て過去を軽視する風潮の瀰漫することを慮れるものである。

私達は今我が祖先が永い歴史のうねりの中で育み伝承し続けた遺産文化を確実且つ完全に保存管理すると共にそれによって故実を識ることは、郷土を愛し愈々発展せしむる原動力であることを確信するものである。

古い歴史をもつ酒々井町には先人達の遺した貴重な歴史や文化の遺品が数多く散在している筈であるが、それらをそのままに放置して置けば損傷散逸の虞れなしとしない。

依て町は可及的速やかに郷土資料館(仮称)を建設しその保存管理を万全にして町発展の一助に資するよう強く要望するものである。

右、決議する。

平成四年一月二十五日

酒々井町郷土研究会第十六回総会

申達先

- 酒々井町長 京増 正儀殿
酒々井町議会議長 竹尾 昭治殿
酒々井町教育委員長 高須 裕之助殿

平成3年度事業報告書

平成3年1月~平成3年12月

Table with columns for '事業名' (Project Name), '説明' (Description), and '参加者数' (Number of Participants). It lists various activities like '町内史跡めぐりハイキング', '見学会', '野草の会', '名勝探訪', '郷土史講座', '史跡文化財愛護活動', '会報発行', '運営委員会', '生涯学習フェスティバル文化展', and '総会'.

平成4年度事業計画 4年1月~4年12月

Table with 2 columns: 事業名 (Activity Name) and 説明 (Description). Lists 11 activities including '町内史跡めぐりハイキング', '見学会', '史談会', '野草の会', etc.

※ 事業計画については変更する場合がありますのでご了承ください。

平成4年度事業計画表

Calendar-style table showing the schedule of activities from January to December. Activities are marked with '○' in specific months.

郷土研日誌 1.9~3.31. Table with 3 columns: 月日 (Date), 内容 (Content), 参加人数 (Number of Participants). Lists daily activities and their participant counts.

郷土研究会平成4年度役員名簿. Table with 6 columns: 役名 (Position), 氏名 (Name), 住所 (Address), 電話番号 (Phone Number), 氏名 (Name), 住所 (Address), 電話番号 (Phone Number). Lists the names and contact info of the association's officers.

郷土研と共に過ごした八年間亡夫自身こんなにも早めに皆様とお別れすることなど考えてもいなかっただけでしょうし、まだ郷土研に居る積りでしうから彼岸の地からしつかり見守って貰いたいのです。

青木かず子
賞重紙面を拝借して昨年十月に七くなった夫喜作の生前賜った御交誼に改めて郷土研の皆様には厚く御礼申し上げます。
昭和五十五年教職を退き車の運転免許とモーターボートの免許を取得したものの部内は車の泥濘、東京湾も過密で船出もできず、三年後酒々井に移住がきっかけで郷土研を紹介され入会、これが水を得た魚の如く格好の活躍の場となりました。酒々井便利人と自称し何にでも手を出しました。その手でどこか触られたお方、本当に申し訳けありません。某週刊誌連載でワグナナの悪口山というのがありますが、これが悪口ならぬべた誉めの有様私も亡夫をケナそうと思っても何か憎めない人で、人世のいい所ばかりを攫って逝ってしまった故、日あいつ奴！とお思いの方も多々いらつしやることでしようが、幸いにも聞かえてきますのは耳に快い想いで話ばかりが残りました。

モーターボート

東京都庁見学

行武 政市

一月十六日京成酒々井駅八時二十六分
出発。日暮里で乗り替えたJR山手
線では、朝夕の通勤混雑緩和のため
最近運行している新型電車で乗り合わ
せ、十時になると卸操作で座席がセット
され着席、話のはずむ間もなく原宿
に到着する。

明治神宮に遅ればせながら初詣で
と参拝する。手入れの行きどいた境
内の緑濃く、全国一の初詣での人出を思い
ながら二の鳥居をくぐった。折よく、成
人の日に有名ホテルが奉納したという、
六十余の氷の彫刻にお目にかゝる幸運に
めぐり合った。見事な氷の芸術だった。
一の鳥居の三尺はあると聞く柱の大
さに驚きながら境内を後に。

十一時三十分自由行動。先ずは腹持
え、そして、若者の町竹下通りを楽し
み、十三時新宿へ向かう。地下を出ると
目前に建ち並ぶ高層ビル群、特に高い
ビルは今日のメイン、自治と文化のシ
ンボル東京都新庁舎。見学の予約時
間に少々の間があり、隣接する中央
公園へ行く。ここには、十二社熊野神
社があり、熊野三山の四社、中四社、
下四社の神々が合祀されていることから
十二社と称される由緒ある神社に参
拜後、都庁舎へ行く。

都庁舎に案内され、スライドの説明を
聞き、第一第二庁舎は廊下でつながり、

都議事堂外見学、防災センターは、地
震等の災害時の情報を収集し、都民の安
全を守るための設備です。四五階の眺望
室から大東京を眺める。都政の運営、
都民交流、国際化の推進とあうゆる
行政の活動機関が二つの新庁舎の中
にある。東京都の顔、そして、日本を
代表する中核として、中味外観共に
「立派」と醒めやらぬ感動を胸に帰
路につく。

充実した見学会有難うございました。
いた。



みみ泉のよう
にぶきます。
お仲間
にうかが
いませう。
あなたも
どうぞ

魚獲り今と昔 (一)

相京 晴次

中川のこと

今は釣り人口が非常に多いとい
われています。これも経済成長の
有難い時代到来のためでありましょ
う。

私達の日常生活で、食べる魚の種
類も、今と昔では大きく変わって
いることは、皆さんご承知の通りであ
ります。食べる魚のことはさておい
て、ここでは、印旛沼に通じる中川を
中心とした、魚とりの昔を振り返っ
てみましょう。

中川は酒々井字根知山・大台上岩橋
字中山を水源として、上岩橋区と中
川町の境界線を自然環境のまま蛇行
して、印旛沼に流入している小さな川で
あります。この川も団地の造成、土
地改良などにより、川がまっすぐとな
り、兩岸はコンクリートの柵梁によっ
て川中は広くなりましたが、魚の住
みにくい川となっていました。

かおば
河干し

この中川も昭和三十年ごろまでは、
川巾も狭く、自然のままに曲がりく
ねって流れており、兩岸には柳が植
えられて深いところ、浅いところがあ
り、魚の住みよい川でありました。
『上岩橋の歴史史料』中の木村豊

吉諸控帳明治二十九年八月の頃「河
干遊参講」に河干しをして魚を獲り遊
参講をした記録があります。獲った魚
数は、

- なます 二貫八百目(二〇、五キロ)
ふな 一貫六百目(六、〇キロ)
やまべ 三貫六百目(十三、五キロ)
雑魚外 二十貫目 (七五、〇キロ)
とあり、場所は堰下橋上曲り角より、
トヶ崎橋下曲り角まで、

(約一キロメートル)
河干し参加者、十九名の名が記るさ
れています。

河干し、とは川を堰止めて、水を外
に流し、魚をとる原始的な漁法で、昔
は時々行ったようです。遊参講はこの
魚を売って、酒、調味料を買い、手料
理によって一日清遊した農村の娯楽機
関でありました。

それにしても、今は印旛沼でも見
られなくなりました。やまべがこん
なに大量に獲れたことは驚くばかり
です。(以下次号)

会計報告

Table with financial data including income and expenses for two dates: 2/15 and 3/11. Includes items like '会費', '材料代', and 'バス代'.

見学会案内

一泊見学会 5/5(金) 5/6(土)

信州鎌倉を訪ねて

周囲を山に囲まれたのどかな農村風景の... 鎌倉・室町期... 松本街道にそって訪れます。

松本城(国宝)

永正元年(一五〇四)小笠原氏家臣島立貞永が築いた深志城が基で... 五層六階の天守閣(三十一メートル)に小天守、付櫓を配し、連結複合式天守の代表例として知られている。

城内一階に考古、歴史、民俗資料を二階に時計のコレクションや、フランスのシャンテリヤ時計、スチントグラス時計、櫓時計等が二百六十点展示されている(別名 鳥城)

旧開智学校(重文) 鹿鳴館を思わせる洋風建築で明治九年に完成、昭和三十八年迄約百年間小学校として使用、建物は東大の前身開成学校をモデルにして、中央に八角の高い塔がそびえ唐破風造りの屋根があり、洋風と和風が見事に調和している。美しいステンドグラスが明治の匂いを放ち、内部には貴重な教育資料が数多く展示されている。

前山寺・三重の塔(国宝)

二層三層には窓も扉も無く未完成故の美しさを愛する人も多い。和様に唐様を部分的に加えた室町時代(一五〇〇)頃初期の建物で重要文化財。前山寺は、真言宗で弘法大師の開基という。鎌倉時代塩田城主北条氏の祈禱所として栄えたが、北条氏滅亡により三重の塔が未完成のままになったという。

北向観音

天長二年(八二五)常楽寺の裏手より火がふき出した。都より円仁慈覚大師来たり、七日七夜の祈禱により火坑が鎮まり観音菩薩が現われ、北向山の柱の木に止まった。円仁が北向に安置したのが北向観音。南向きの善光寺と向い合い善光寺に未來往生を、北向観音に現世安樂を願うのが本当の参詣で、両方をお詣りしない者を片詣りといひ、御利益半減という。この柱の木は愛染柱と呼ばれ縁結びの利益は格別である。境内の手洗水は温泉がふき出している。

安楽寺・八角三重塔(国宝)

天平年中(七二九~四九)行基が瑠璃殿を建立して薬師如来を安置し、長楽・安楽・常楽の三楽寺を造営したのが始まりと伝える曹洞宗の古刹で、この三重の塔は八角の三重の塔(国宝)である。唐様式で完全な中国式建築の非常に珍しい建物である。

常楽寺

長野県上田市別所 北向観音の本坊で、安和三年(九六九)平維茂が堂宇を増築、寿永元年(一一八二)木曾義仲の兵火にあったが、建久二年(一一九二)海野広道が再興、建長四年(一一五三)領主の塩田陸奥守祐が重興したという。石段を登ると正面が本堂、左手に見事な松がある。裏手の北向観音が出現した跡に鎌倉期の石造多宝塔(重文)がある。

鹿教湯温泉

鹿教湯温泉(泡) 天竜閣(268、44、2126) シカに化身した文殊菩薩が獵師に湯の場所を教えたという伝説があり、温泉名の由来となっている。神経痛、関節リウマチなどのリハビリテーション施設の完備した療養温泉として有名。単純泉。46.5、56。青木朝次

県内見学会

4/17(金) 4/20(月) 4/24(金)

春たけなわ、色とりどりに咲き乱れる花を目に成田をはじめに、八日市場を廻って帰ります。

成田山新勝寺内仏殿 新勝寺の貴重な仏像を納めてある内仏殿を参詣します。

滑河観音(龍正院) 天台宗 香取郡下総町滑川

龍正院は、成田・佐原間の国道沿いにある

坂東三十三観音めぐりの第二十八番の霊場で、重要文化財に指定されている仁王門には、大きな注連縄がかざられている。本尊は十二面観音で秘仏。

神崎神社

香取郡 神崎町本宿 神崎町の北寄りに利根川を見晴らす小高い丘の上にある。天武天皇の時代(六七三~六七六)創祀と伝えられ、境内の大クスは国指定天然記念物で、水戸光圀侯説で有名な「なんじゃもんじゃ」です。

観福寺

真言宗 豊山派 佐原市牧野 寛平年間(八九一~九八)薄海比丘の開基と伝え、本尊は聖観音で平の将門の守護仏であったという。市内隨一の名刹、寺宝として、国指定重要文化財の銅造十二面観音坐像・銅造地藏菩薩坐像・薬師如来坐像・釈迦如来坐像がある。ここで昼食をいただきます。

日本寺

中村權林、日蓮宗 香取郡 多古町中 中山法華経寺開山第一世の常修院日常の開山と伝えられ、慶長四年(一五九九)日蓮宗の学問所(中村權林)が開設され、明治の初めまで存続した。全国各地より学僧が来々にぎわった。

曾我兄弟の墓

八日市場市 山桑 兄弟の仇討に従った魁王丸、四三郎なる兄弟が山桑の地で、故郷に骨をもつて帰り手厚く葬られたという伝えの古い石塔

福善寺

真言宗 智山派 八日市場市 万町 生尾老屋神社の旧別当寺、延元元年(一三三六)定清大徳の中興と伝えられる。八日市場の産土神として今も土地の人々の崇敬を集めている。曾我十郎の愛人とわがわが虎御前の打掛が寺宝として保存されており、今回拝見させていただきます。

郷土研行事業内

平成4年4月~6月

	4月	5月	6月
史談会	17日(土) 午後1時30分 「酒々井町の年中行事」を読む会 中央公民館 会議室	9日(土) 午後1時30分 「酒々井町の年中行事」を読む会 中央公民館 会議室	13日(土) 午後1時30分 「酒々井町の年中行事」を読む会 中央公民館 会議室
名勝探訪 野草の会	23日(木) 午前11時30分 「山菜を食べる会」 会費 500円 申込受付 4月8日(水)9:00~11:00 受付時間 公民館ロビー 定員 80名 キャンセル 前日まで、会長宅() ※お手伝い下さる方は8:30までに来て下さい。	12日(火) 京成酒々井駅 8:26 出発 「名勝探訪 深川方面」 京成酒々井駅→門前仲町→深川不動→富岡八幡→法乗院(深川八幡)→紀伊国屋文左衛門墓→深川江戸資料館→壘蔵寺(松平定信墓)→清澄庭園→深川芭蕉庵跡→芭蕉記念館→森下→京成酒々井(雨天中止) コースについては多少の変更のあるところもありますのでご了承下さい。	2日(火) 京成酒々井駅 8:26 出発 「名勝探訪 護国寺方面」 京成酒々井→日暮里→JR池袋→地下鉄・護国寺→護国寺→新江戸川公園→永青文庫→芭蕉庵→地下鉄・江戸川橋駅→JR池袋→上野→京成酒々井駅(雨天中止)
史跡文化財 愛護活動	4月28日(火) 午前10時 現地集合 ◎現地のわからない方は、社会福祉協議会玄関前に9:45 近くに集合して下さい。 都合のよい現場に「カマ」等草刈清掃用具ご持参の上ご参加ご協力の程お願い申し上げます。 (雨天中止) 代替日 5月7日(木)	(1) 上岩橋貝層 (2) カンカン口横穴群 (3) 伊篠松並木 各地の草刈清掃	
町内 史跡めぐり (教育委員会共催)	6月14日(日) 午前9時 中央公民館集合 昼食は各自お弁当及び飲み物をご持参下さい。 青葉目に染み入るよき候、酒々井の古き史跡を求めてハイキングします。多数のご参加をお待ちしております。	町内史跡めぐりハイキング コース 中央公民館→東光寺→旧芝山道(谷上り)→墨・泉光院(薬師堂)→六所神社(昼食)→飯積・泉福寺→飯積道標→伊豆神社(大杉)→尾上・双体道祖神→中央公民館(15:00予定)	
県内見学会 (出発 午前8時30分 中央公民館)	4月17日(金) A班 20日(月) B班 24日(金) C班 申込受付 4月8日(水)9:00 一定員次第で切 受付場所 中央公民館ロビー 会費 1,700円 (外での昼食もご持参) キャンセル 実施日3日前まで (数物をご用意下さい) 連絡先 会長 会田香雄宅()	神崎・佐原・八日市場方面 コース 中央公民館(8:30)→新勝寺内仏殿→清河観音→神崎神社(なんじゃもんじゃ)→佐原・観福寺(昼食)→多古・日本寺(中村檀林)→八日市場・山桑・曾我兄弟の墓→福善寺→酒々井中央公民館(16:30予定) (雨天実施)	
一泊見学会 (出発時間) 6:30 公民館 今回は公民館1ヶ所のみのお出立	5月15日(金)~16日(土) 申込受付 4月8日(水)9:00 一定員次第で切 受付場所 公民館ロビー 定員 40名 費用 20,000円 (多少の飲み物の持込は自由です) キャンセル 実施日5日前まで 連絡先 会田香雄宅()	松本・鹿教湯・別所方面 (信州鎌倉めぐり) (5/15) 酒々井中央公民館6:30→中央高速→松本(松本城・旧開智小学校)→昼食→鹿教湯温泉(☎天竜閣 TEL 0268-44-2126) (5/16) 鹿教湯温泉→工田市別所→前山寺→北向観音→安樂寺→常樂寺→昼食→高速道→酒々井(18:30予定) (雨天実施)	

名勝探訪

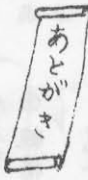
◎ 深川方面 5/12(火) 5/2(火)

大江戸八百八町の中で深川は、庶民の喜怒哀楽の表情が色濃く漂うところでした。大震災で大きな被害を受けました。その伝統はあちこちに残っています。

成田不動の出開帳の行われた深川不動。巨大な横綱碑のある富岡八幡。法乗院のエンマ様はコンピュータで説法なさる。豊商紀伊国屋の形崩れた墓と贅を尽した清澄庭園。けいこ相撲のかけ声の飛び相撲部屋を抜けて、万年橋あたりは芭蕉ゆかりの地。楽しみながら歩きます。

◎ 護国寺方面 5/2(火)

京成・JR・有楽町線と乗りついで、護国寺駅下車。徒歩一分で、元和元年(一六八一)徳川五代將軍綱吉の生母・桂昌院の発願により建立された護国寺につく。中山従一位局・大隈重信・山県有朋の墓がある。新江戸川公園まで幽霊坂を下り、目台通りの田中角栄邸前を通って時間があれば東京カテドラル聖マリア大聖堂に立ち寄り公園に行きます。自然美と人工の美の庭園を堪能して下さい。次の永青文庫は旧熊本藩主・細川家に伝わる美術品を収めてある博物館五百円入館料要。五分ばかり歩いて関口芭蕉庵へ。芭蕉が四年間住んでいた庵。貴重な文庫も保存されている。江戸川橋駅より帰途につきます。



時は春。日は朝。とくらは酒々井。どこかで聞いたような文句を使わなくても酒々井の町は春だ。梅だ。水仙だ。戸外へ出ましょう。歩きましょう。町内史跡めぐり。今年予定の墨・飯積にはクサラシなようまがやがたくりの群生地があります。なせか、ここ数年足らずのうちに消えてなくなり悲しいことです。大切な自然は思っても植物には自生出来ない何かが起ってしまったようです。

四月十八日史跡文化財愛護デーには大勢の皆様が参加。清掃の御手助けをお願い申し上げます。